



開校23年目

「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」

新座小だより

学校 HP 随時更新中



埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和8年度7月号
児童数：296名

「備え」が安心をつくる

校長 小俣 優子



全国各地で地震や大雨などの自然災害が多発しています。6月には台風の影響で市内小・中学校が休校になったり、雷で下校時刻を変更したりする事案が起きました。いつ、どこで起こるかわからないのが災害の怖さです。だからこそ学校では避難訓練など、「もしも」に備える取組や防災教育を行っているところです。

以下に、先月行った避難訓練（地震）についてのアンケート結果の一部を紹介します。

1 避難訓練の時にどんなことに気を付けていますか？

- ・「おかしなもち（押さない、駆けない、しゃべらない、仲間と離れない、戻らない、近づかない）」を守って行動する。
- ・静かに冷静に行動する。
- ・放送をよく聞く。
- ・頭を守る。
- ・ふざけない。
- ・実際に起きた時のことを想像し、素早く逃げられるよう行動する。

2 休み時間に地震が起きたときの行動について

(1) どのような行動をとればよいかわかりますか？

※ほぼ100%の児童がどのように行動するか分かると答えていました。

(2) どのような行動をとりますか？

校舎の中にいるとき

- ・机の下にかくれる。
- ・窓からはなれる。
- ・頭を守る。
- ・地震がおさまるまで動かない。
- ・近くの教室に入り、机の下で頭をかくす。
- ・揺れがおさまったら防災頭巾をかぶって外に出る。

校舎の外にいますとき

- ・遊びをやめて校庭の真ん中に行く。
- ・校庭の中央で姿勢を低くして待つ。

3 おうちのひと「地震が起きたらどうするか」について話し合ったことがありますか？

※話し合ったことが「ない」と答えた児童の割合が多かったです。

4 3で「ある」と答えた人はどんなことを話し合いましたか？

- ・留守番の時どうするか。
- ・どこに逃げるか。
- ・迷子になったらどうするか。
- ・まずは机の下にかくれて、放送が鳴ったら家の外に出る。
- ・集合場所
- ・防災バックをもって安全なところへ逃げる。

避難訓練は「上手に避難すること」が目的ではありません。一人一人が命を守るために、自分で考え、落ち着いて行動できる力を身に付けることが本当の目的です。現代の教育は、「予測困難な時代を生きる力」を育むことが重要視されており、誰かの指示や決まった答えを待つのではなく、状況を判断し、自ら考え、行動する力が求められています。不測の事態に備えることは、その力を育てる大切な学びとなります。学校ではこれからも防災教育や安全教育を通して、子供たちが自分の命を守り、周りの人と助け合える力を育ててまいります。

「備え」は不安のためではなく、安心のためにあります。今日できる小さな準備の積み重ねが大切な命と未来を守る大きな力になりますので、ご家庭でも避難場所や連絡方法、防災用品の確認などを話題にいただき、「もしもの時」を家族で考える機会をつくっていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

新座小ホームページ「学校からのお知らせ」に防災マニュアルや地震発生から引き取りまでの流れを掲載していますので是非ご確認ください。